

## バチルス・サブチリス由来のN-アセチルグルコサミン6-リン酸脱アセチル酵素、組換え

Cat. No. NATE-1541

Lot. No. (See product label)

## はじめに

*□明* 酵素学において、N-アセチルグルコサミン-6-リン酸脱アセチル化酵素(EC 3.5.1.25)は、

次の化学反 $\Box$ を触媒する酵素です: N-アセチル-D-グルコサミン6-リン酸 + H2O  $\rightarrow$  D-グルコサミン6-リン酸 + アセテート。したがって、この酵素の二つの基質はN-アセチル-D-グルコサミン6-リン酸とH2Oであり、その二つの生成物はD-グルコサミン6-リン酸とアセテートです。

*別*名 N-アセチル-D-グルコサミン-6-リン酸 アミドヒドロラーゼ; アセチルグルコサミンリン酸 デ

アセチル化酵素; アセチルアミノデオキシグルコースリン酸 アセチルヒドロラーゼ; 2-アセト

アミド-2-デオキシ-D-グルコース-6-リン酸 アミドヒドロラーゼ; EC 3.5.1.25

製品情報

**種** バチルス・サブチルス

**由来** 大腸菌

*形態* 35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM

CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

**EC**番号 EC 3.5.1.25

**CAS**登□番号 9027-50-3

*分子量* 44.6 kDa

**純度** >SDS-PAGEによる評価で90%

濃度 1 mg/mL

*最適pH* 8

*最適温度* 37 °C

*特異性* GlcNAc-6-PのN-アセチル基がグルコサミン6-リン酸とアセテートを生成する

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で出荷されますが、-20 °Cで保存する必要があります。